

西っ子 でっなげよう スマイルの輪
～いまも明日もその先も～

令和6年度 研究実践リーフレット

研究主題

子供が創り出す学びの実現 〈2年次〉



「子供がやりたいこと」&「教師がやらせたいこと」

昨年度より「子供を主語」とした研究主題「子供が創り出す学びの実現」を掲げ、研究を進めています。

これまでの授業研究会の中で「教師の意図は分かるが、真に子供の願いや問題意識に基づいた学習であったか。」という意見や「子供は生き生きと取り組んでいるが、本時のねらいを達成するための指導は十分であったか。」といった意見がよく聞かれました。「子供がやりたいこと」と「教師がやらせたいこと」との兼ね合いの難しさを感じながら、子供の姿を基によりよい授業を模索してきました。今、私たちは「たとえ教師がやらせたいことから離れても、子供がやりたいことを納得いくまで粘り強く取り組むことが、結果として資質・能力の三つの柱をバランスよく身に付けることにつながる」という考えに立っています。それは、「やりたい」が尊重されることで、更なる「やりたい」を生み、子供が自ら学びを広げ深め、生き方にまでつなげていこうとするからです。

来年度の節目となる第30回教育公開では、そのような子供の姿を見ていただくことができればと願っています。

何卒、忌憚のない御意見・御指導を賜りますようお願い申し上げます。

令和6年11月9日

校長 服部 晃幸



長良川学園 岐阜市立長良西小学校

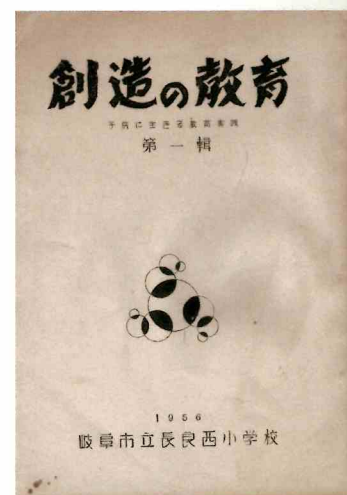
息づく「創造の教育」の理念 ～創立70

昭和30年4月1日、3年生以下414名で開校した本校は、今年創立70周年を迎えました。

「『創造の教育』第1集（昭和31年3月）」には、「創造初年度の回顧」として、次の項目について記されています。

子供の生活する生活学校

- 一 生み出そうとすることから 子供に生きる教育実践とは
- 二 生み出すことの一步から
- 三 なんでも協働出来るという意識を
- 四 なんでも協働出来る雰囲気
- 五 やりながら考え 考えながら共に学ぶ生活の深さへ
- 六 表現する生活のおもしろさへ
- 七 みとめあう



学校創設期の子供の生活を中核に据えた「『創造の教育』の精神」は、子供たちや教職員に脈々と受け継がれ、本校の校風になっています。

「みんなと同じことができる」から

「みんなとちがうことを生み出せる」へ

「言われたことを言われたとおりにできる」から

「進んで多様な他者と協働できる」へ

今年度より、近隣の中学校で生成AIの利用についての実証研究が始まるなど、子供を取り巻く環境は加速度的に変化しています。社会のデジタル化が進む中で、AIやロボットとは異なる人間の強みは、「創造力」や「主体性」を発揮していくことにあります。そこで、学習や生活において、他人の真似をしたり、言われたことを確実に言われたとおりにすることより、他人と異なることに価値を置き、独自の発想で新たなものを創り出したり、主体的に多様な他者と知恵を出し合い粘り強く取り組んだりすることを重視する必要があると捉えています。



周年を迎えて～

＜令和6年度児童会スローガン＞
西っ子でつなげよう スマイルの輪
～今も 明日も その先も～

子供たちは、コロナ禍において「今できることは何か」を考え、仲間と議論し、試行錯誤しながら授業をはじめとした教育活動を創り出してきました。そして、感染症の影響による制約が緩和された昨年度、児童会スローガンを「西っ子で 生み出そう あふれるスマイル」とし、前例にとられることなく、運動会や児童集会等様々な活動を創り上げていきました。

さらに今年度は一層「人とのつながり」を大切に、上記のスローガンを設定し、「今」と「未来」を見つめて、誰もが幸せを感じることができる学校生活を創ろうとしています。



多様性の尊重

～全ての子供たちの可能性を伸ばす～

本年7月に児童集会「学び続ける学習集会～〇〇が大好き～」が実施されました。全校から応募のあった271人の「大好き」の中から、「ピアノ」「新体操」「魚」が大好きな子が代表して発表しました。家庭や地域で子供たちが夢中になって取り組んでいることは本当に多種多様です。

また、外国にルーツのある子供や発達障がい疑われる子供の数は年々増加しており、本年度より通級指導教室を増やして2教室設置しています。家庭環境も様々で、共働きや一人親家庭の増加に伴い、放課後児童クラブ（あゆのこ）は4教室開設しています。学力については、全国学力・学習状況調査結果を見ると、上位層と下位層の2極化が一層顕著になっています。

「これまで通りの授業」では、誰一人取り残されない学びの保障が難しくなっています。多様性を尊重し、全ての子供たちの可能性を伸ばす授業改善に努める必要性を強く感じています。



自らの生き方を創り出す

岐阜市では、令和5年度より「岐阜市を学び、自分の生き方を創り出す ぎふMIRAI's」の取組が始まりました。本校においても、総合的な学習の時間や生活科の学習を中心に、「ふるさとの人・もの・こと」全てを先生とする探究的な学習の充実を図っています。そして、ふるさとについて深く知り、地域で活躍する様々な人の営みや考え方に触れ、自らの生き方を創り出していく子を育てています。

<「西っ子MIRAI's」で育成を目指す資質・能力>

夢や希望をもち、自分らしく生きる 未来を創造しようとする力、人間性等

- 自己理解・他者理解
 - ・自分の生活を見直し、自分の特徴やよさを理解しようとする。
 - ・異なる意見や他者の考えを受け入れて尊重しようとする。
- 主体性・協働性
 - ・自分の意思で目標に向かって課題の解決に取り組む。
 - ・自他のよさを生かしながら協力して問題の解決に取り組む。
- 将来展望・社会参画
 - ・自己の生き方を考え、夢や希望をもち続ける。
 - ・実社会や実生活の問題解決に、自分のこととして取り組む。



<鶴飼いについて探究>

生きて働く概念的な知識及び 自在に活用できる技能

- 子供が取り組む探究課題（学習対象）に即して、事実に知識が構造化され、概念的知識への高まりを次の視点から捉える。
 - ・多様性 相互性 有限性
 - ・独自性 協働性 創造性
 (例) 3学年「ふるさとの今と昔
～岐阜メモリアルセンターと川原町～」
- 多様性、独自性
 - ：それぞれの施設や町並みには特徴があり、地域の人が個別のよさを生かした取組をしている。
- 技能が、学校の活動の中に留まらず、家庭や地域生活など日常の様々な場面や状況で活用可能なものになっているかを捉える。
 - ・いつでも、滑らかに、安定して、素早く行われるような技能

探究の過程を繰り返す中で育成 される思考力、判断力、表現力等

- <課題の設定>
 - ・複雑な問題状況の中から課題を発見し、設定する。
 - ・解決の方法や手順を考え、確かな見通しをもって計画を立てる。
- <情報の収集>
 - ・情報を効率的に収集する手段を選択する。
 - ・必要な情報を多様な方法で収集し、種類に合わせて蓄積する。
- <整理・分析>
 - ・異なる情報の共通点や相違点を見つけ、関係や傾向を明らかにする。
 - ・事象を比較したり、関連付けたりして、確かな理由や根拠をもつ。
- <まとめ・表現>
 - ・相手や目的に応じて効果的な表現をする。
 - ・学習を振り返り、自己の成長を自覚し、学習や生活に生かす。

<文部科学省「今、求められる力を高める総合的な学習の時間の展開（令和3年3月）」参照>

西っ子MIRAI's

<子供が学びをつなぐ>

各学年の学習がつながることで、深い学びが生まれます。そこで、これまでの歩みを踏まえて、子供の願いや課題意識に沿って子供自身が活動内容を決め出すことを大切にしています。探究課題（学習対象）を固定化することなく、柔軟に変更しています。例えば、今年度の4年生は子供の願いに沿って「FC岐阜」に関わる活動を3年時から継続しています。



長良中学校「生活をきり拓く力」の育成

1小1中 長良川学園構想

■6年生 ふるさとの未来・わたしの未来

■5年生 ふるさとの暮らし

■4年生 ふるさとの自然・まち・人

■3年生 ふるさとの今と昔

■2年生 あしたへジャンプ!

■1年生 わくわく どきどき!

幼保小 架け橋プログラム

■わかあゆ（特別支援学級）
ふるさとを知ろう！
体験しよう！

幼稚園・保育所・認定こども園 <遊び・体験>



<「FC岐阜」と岐阜を元気に！>

本物とであうリアルな体験

現地に出かけ、実際の人・自然・社会に触れる直接体験が子供の心を揺さぶり、より主体的で深い学びにつながっていきます。



<老舗旅館にて川原町を探究>



<天神川の生き物調査>



<パラアスリートとの交流>